

# 支 援

## 一年をふりかえり 心新たに新年を

今年も、連携団体はじめ関係者の皆様には、学校支援センター事業にご理解とご協力をいただきありがとうございました。また、市内小・中学校で学校教育の支援にあたって活動されたボランティアの皆様には心より感謝申し上げます。そして、ボランティアコーディネーター（以下「VC」）の皆様には、地域と学校を「知らせる」、「つなげる」、「支える」などの取組に尽力されたことに御礼申し上げます。町田市学校支援センター事業は、家庭、地域、学校が連携した教育を推進して「地域協働の学校づくり」をめざすものです。その実現に向け、地域住民による学校支援ボランティア活動を推進して教育活動の充実を図っており、そのために、各小中学校にVCを配置して、地域住民による学校支援ボランティア活動と教育活動の充実をバックアップしています。2011年度に市内の公立小中学校にVCが全校配置となり5年目を迎えたところで、これまでめざしてきたVCの配置・充実が多くの学校で達成されてきました。今後を見通したとき、VC活動の充実・発展をめざすことはもとよりですが、各学校の協力を得ながらボランティアの実績を見取り、ボランティア活動のよりいっそうの充実に向けて事業を推進していく必要を感じています。そうした思いを胸に、心新たに新年を迎えたいと思います。

今後の「模擬選挙の授業」の予定（参観希望は直接学校へ）

1/19 成瀬台小 2/10 鶴間小 2/12 大蔵小 3/4 町田第一中

### 相原小学校6年 社会科「模擬選挙体験」

11月13日（金）に相原小学校の6年生が、社会科「わたしたちの生活と政治」を学習する中で模擬選挙を行いました。町田市選挙管理委員会・町田市明るい選挙推進協議会が推進する「選挙」出前講座を、昨年度に続いて実施するものです。午前中に、相原小学校6年生用に編集された資料を用いた教室での授業で、選挙の意義、歴史、さらには投票の仕方などを学びます。午後は、実際の投票所と同じように設営された体育館で、3名の候補者が語る政見を聴き、実際に使われている



記載台で書き込んだ投票用紙を、実際に使われている投票箱に投じます。仲良しであっても、選挙は友人と相談するのではなく、自分の考えで票を投じることが大切と強調された学習でした。

明るい選挙のイメージキャラクター「めいすいくん」の登場も児童の関心を呼びましたが、実際に使われている投票用紙が合成紙であり、それが折りたたまれていても自然に開いていく様子には驚きの声がるほどのものがありました。



本年6月に成立した改正公職選挙法により、18歳以上の国民が有権者となった今、青少年の主権者としての自覚、投票行動につながる意識の向上は学校教育のより大きな課題でもあります。学校支援センターに届いた町田市選挙管理委員会の「『選挙』出前講座」に関わる情報が、VCの仲立ちを経て実施される体験授業です。

## 地域にある工場と学校をつなぐ

### 食品工場 町田第一小学校3年



### 紙製品製造工場 小山田南小学校3年



### 電気掲示器などの製造工場 小山中央小学校5年



3年生は社会科で「町の人々の仕事」を学習します。社会科副読本「わたしたちの町田」には、スーパーマーケットや商店街などを見学して、働く人たちの工夫や努力について考えてみることを示されています。また、5年生は社会科で「わたしたちのくらしと工業生産」を学習する過程で工場を見学することがあります。

市内の学校では、こうした見学先をリサーチしたり、折衝したりすることは、主に教員が行っていますが、学校にVCが配置されるようになってからは、VCが見学先と学校をつなぐ役割を担っているケースが見られるようになってきました。次の事例はいずれもそうしたケースです。

まず、町田第一小では、4年前から豆腐製造の工場見学が再開、忙しい合間をぬって見学させていただいています。学校給食の食材がこの工場から供給されていることを知り、「給食で食べる豆腐はここでできているのか。残さず食べなくちゃもったいない」の声が聞こえてくる

こともあるそうです。

次に、小山田南小では、毎年、3年生が相模原にある「紙筒」製造の工場を見学しています。機械生産の工程もあれば、手仕事で行われる工程もあり、優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることを間近に感じることができます。

また、小山中央小の5年生は、学校のすぐそばにある工場を見学させていただいております。その工場では「固定サイン」「可変サイン」「電気融雪器」など、鉄道会社には欠かせない製品を製造しています。見学した児童は、こんな先端的な技術の工場が学校近くにあることを知り、感心したり驚いたり工場見学になっています。

今回の3工場の中には、他校の受入れ枠がないところもありますので工場名を載せていませんが、関心をお持ちの学校は、学校支援センターまで問い合わせください。

## 町田第三小学校4年 社会科「薬師池公園」



11月18日(水)に町田第三小学校の4年生が、薬師池公園を歩き、お話を聞く校外学習に取り組みました。「ふるさと町田ガイドボランティアの会」に所属するガイドがクラスごとに付き、その説明を学びながら公園内を散策する社会科の授業です。

約50年ぶりに行われた「かいぼり」の作業が3月まで続く中で、見学場所には制約のある学習となりました。しかし、社会科副読本「わたしたちの町田」も資料のひとつとして示しながらの説明は、高度な内容を児童にも理解できるわかりやすいもので、薬師池を歴史的、地理的、社会的に理解できるとてもよい学習の機会だったでしょう。何よりも、4年生児童の皆がしっかり話を聞き、メモを取る姿に感心させられました。

ガイドボランティアとの連絡はVCが中心になって進め、準備などに取り組んだ上で実施された学習効果の高い校外学習でした。

ガイドボランティアとの連絡はVCが中心になって進め、準備などに取り組んだ上で実施された学習効果の高い校外学習でした。

## 金井小学校1年 生活科「さといもほり」

11月17日(火)に金井小学校の1年生が、正門前の農地で栽培されている「さといもほり」をしました。住宅街の一角で野菜作りを営む地域の方のご協力で、毎年行われる1年生の生活科の栽培体験授業です。

大きなビニール袋を手に整列した1年生は、「これはブロッコリー」「これがハクサイ、キャベツ、ダイコン…」と説明されるたびに「エエーッ、しってる、たべたことある…」などと声を上げつつ、サトイモの株の前に並びます。自分の向かいに並んだ友だちに土をかけないように、スコップを自分に向けて使う気遣いの指導を受けたうえで作業に入ります。それぞれが掘り出すサトイモに「せんせー、みてみて」「こんなにおおきいのがとれた」などと大騒ぎの児童は、「大きいのは親芋でふつうは食べないの、食べるのはまわりに付いている小芋です」などと勉強もしながらの作業に取り組んでいました。農地はVCの知り合いの農家からお借りしているもので、授業に先立って児童数に合わせてサトイモの株をそろえたり、その茎・葉を処理したりする準備などの上実施された体験授業です。



## 成瀬中央小学校 「読み聞かせ」

12月2日(水)に成瀬中央小学校の全校児童が、「大人と子供のための読み聞かせの会」による、絵本「おかあちゃんがつくったる」の朗読を鑑賞しました。

公演に先立つ、「つくる」ことの意味を考えさせるクイズ形式の語りや、本を読むことやその意義を考えさせる語りは、それだけでも十分に児童をひきつけるものでした。読み聞かせは、手作りの大型のしかけ絵本を見ながら、情景をふくらませるピアノの演奏を背景に、情感豊かに語られる話で、多くの児童の胸に響くなにかが届けられたように思われました。

中井貴恵さんの主催する「読み聞かせの会」の読書指導に資する活動の情報を、他校のVCから得た当校VCが、学校に提案して実施されたものです。事前事後の交渉・手配だけでなく、会場設営の指示なども含め、VCによる活動の下支えがあつての実施でした。



## 南中学校1年 総合「地域で働く人のお話を聞く会」

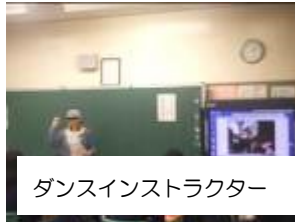
2学期のはじめには「身近な人の職業調べ」を行いました。その学びをさらに深めるために実際に地域で働いている人の話を聞きました。



旅行会社添乗員



自衛隊



ダンスインストラクター



消防士



助産師



サンドイッチ店オーナー



保育士

VCの人的ネットワークを駆使して、地域で働いている人をお招きしました。進路選択にあたって、何か手掛かりがつかめたことでしょう。

1年生が描いた絵手紙を地域の商店や特別養護老人ホーム、福祉作業所などの事業所に飾り、多くの方々に鑑賞していただきました。また、生徒はグループごとに事業所を訪問して、絵手紙を鑑賞し、協力してくださったお礼をお伝えしました。学校と地域が連携した金井中恒例の取組になっています。

## 金井中学校1年 「ギャラリーウォーク in 金井」



## 木曽境川小学校4年・木曽中学校2年 小中合同 地域清掃

小・中の教職員と各自治会から地域ボランティアの方々も多数参加して、小学生と中学生合同の地域清掃が行われました。清掃活動を通して、環境美化とともに、地域・小学校・中学校の交流にもなりました。



## 小山田小学校 盲導犬ユーザーのお話



盲導犬ユーザーの風間さんには、今年も多くの学校でお話をいただき、ありがとうございました。盲導犬のサポートを受けながら日々の生活を送っておられる方、そうした方々の想いを代弁するように子供たちに伝えてくださいました。盲導犬に向けて言ってはいけない言葉、やってはいけないことなど、お話を通して気付かされたことがたくさんありました。